

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会  
発行者 多田 丈夫

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 鈴木日退連共同ビル5F  
電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://totaikou.jp/>

■満天の星に癒されて

新玉の年、会員の安寧を祈り、役員と湯島天神を参拝した。時は流れ、猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大は依然として続く。国は一時的統制を緩和し、日常を取り戻したかに見えるが誰もいまだ確信はない。頼みは医療のみだ。夜半の冬、ますます毎日が息苦しくなってきた。今、人々は「こころ萎えたり」と叫ぶ。待ち望む豊かな日々はいつになるのか。救いは、満天の星に癒されつつ、未来を託す子供たちの笑



時代の転換点に立つ、本会の新たな流れに期待しよう  
―共に汗した、すべての会員に幸あれと祈る―  
東京都退職校長会会長 多田 丈夫

顔と元気な声だ。久々の雪景色に見とれたが、やがて桜狩りも終わり花筏が水彩画のような模様をつくる。■「非戦」を願い、祈る

世界は揺れ、分断と対立が進む。途轍もない蛮行の日常化とゆがんだ正義に驚く。人間の性なのか、どこまでも権力に阿る愚かな為政者がいる。ならず者国家の大儀なき侵略。その先、間違ひなく無慈悲な権威主義者に裁きが下る。さて、誰がこの歴史的悲劇を収めるのか、世界の多くの国民が何時まで空しい時を刻む

■弾む心で式典を祝う

創立70周年記念式典が近づいた。組織が燃え、その営みにチームの本質を見る。老舗50年とか、それを遙かに超えた70年の歩み。今、同志は弾む心で、10年の足跡を熱く振り返る。「賢者は歴史に学ぶ」という。

迫る令和5年5月16日の晴れ舞台。その祝いの席は、伝統の都浄瑠璃の演舞と共に、来賓をお迎えし厳粛な式典を待つ。この歓喜を多くの関係者と享受し、心一つに思い出の記録を残す。この日は、惜しまれ黄泉の国に旅立たれた先人達に心から哀悼の誠を捧げる日でもある。会者定離。厳かに、花を添えよう。

■財政の基盤を強固に

疾きこと風のごとくだ。会長職を引き受け8年。役者冥利に尽きると言いたい時に困難を極めた。しか

し、喜びも一入だった。同じ釜でも彩りが違った。我欲を捨て、輝く七色の組織をまとめるに奮闘の日々。時には誤解も間違いもあった。だが、常に爽やかな仲間の善意と才知と経験に救われた。まさに、二一三八名の会員の温もりは力。そして、寄り添える支部こそ宝だ。ここに来て大根役者も少しはまともになった。千里同風。また四季は巡る。この先、清浄明潔の日々が来るだろうか。今は、すべてに感謝だ。まもなく新体制が発足。我々は時代の転換点に立つ。ここに、共に汗したすべての会員に幸あれと祈り、新たな財政の健全化・安定化・継続化への強固な取り組みと関連な会務運営に期待する。

主な記事

- P1 巻頭言 会長挨拶
- P2 創立70周年記念事業
- P4 令和5年度 定期総会  
令和5年度 第1回会員研修会案内
- P5 異支部間交流、支部だより
- P6 新入会員の声
- P7 高齢者叙勲受章会員、地方会員の声
- P8 物故者、応募コーナー、編集後記

創立70周年記念事業について  
運営推進本部長 桐谷澄男

令和五年五月一六日（火）は大安吉日である。

一〇年に一回の節目である周年行事に燃える三委員会の取り組みは至極頼もしい。ワンチームとしての決意のみなぎった集中力とその意気込みとが絶えず一つの目標に正対させた。スケジュール表から見れば順調であり過ぎるといった感じだ。三つの委員会は、終着駅を指して鋭意取り組んだのだった。

一つ目の記念式典委員会は、宇津木委員長を中心に式典の一番核となるところの係である。構想を早々に表記化し、具体的な活用の便に供した。それは、後から続いた新しい組織の協力委員にも見事継承された。「追悼の儀」の場で全員が黙祷することの意義も、新たな価値を与えるものと信じる。記念祝賀会はコロナ禍の煽りを受けて実施できないと決定し

ている。しかし、内容の濃い計画と工夫で新たな取り組みを実施する。それは、「東京都退職校長会一〇年の歩み」を企画し、パワーポイントで上映しつつ、解説するものだ。乞うご期待と

二つ目の記念誌作成委員会は、伊地委員長を中心に回顧と前進を掲げ、「読む記念誌から見ると記念誌へ」を目指して記念誌を作成中である。みんな実に詳細な調査に明け暮れ、その資料は実に膨大なものになっている。完成は9月末、発送は10月を予定している。

三つ目の特別事業委員会は、草野委員長を中心に協賛金に関する業務であり、企業等を回つての全員一気呵成の早めの結着を成し遂げた。この取り組みは一般会計の財政確立に向けたところまでを視野に入れた画期的な意義ある取り組みとなった。会員の心強い応援も眩しい程大変嬉しかった。70周年記念式典の足音ももう聞こえる。

「東京都退職校長会創立70周年記念式典」挙行を前に  
式典実行委員長 宇津木順一

間もなく記念式典当日を迎えます。記念式典委員会では、『組織の意志を未来に繋げ、皆で祝う70周年』を目指して、精力的に準備を進めてまいりました。式典に直接参加される皆様も、式典会場にはお出でにならない皆様も、心一つにして本会創立70周年を共に祝う式典でありたいと考えています。

特にコロナ禍で対面での活動が制約されている今日、70周年を機に本会の活動について共に振り返り、この十年の活動を中心にその成果を確認し、課題を明らかにして、次代への展望を広げることが大切と考えます。式典では「十年の歩み」の発表も加えました。この式典が本会の発展に繋がる、本会の未来へ向けての大きな契機になることを願っています。

記念式典の概要は次のとおりです。皆様の力を結集し立派な式典にしたいと存じます。

「東京都退職校長会創立70周年記念式典」

□日時  
令和五年五月十六日（火）

午後一時 追悼の儀  
午後一時二十五分 記念式典  
午後三時 記念講演  
午後四時十分 閉会

□場所

調布市文化会館「たづくり」  
東京都調布市小島町2-33-1  
・京王線調布駅下車徒歩3分  
新宿駅から急行で約25分

□内容

△追悼の儀▽ 記念式典の前にこの十年間に逝去された会員の皆様のお名前を掲げ追悼します。

・物故者名簿奉奠と献花

・追悼の言葉・黙祷

△記念式典▽ 創立七十周年を祝し、会長式辞、来賓祝辞

とともに功労会員等へ感謝状贈呈、本会十年の歩みの発表等を行います。

△記念講演▽

・講師

一中節 宗家十二世 都一中氏  
一中節 都派家元 都了中氏

・演題 「一中節 伝統が創る  
未来 演奏とお話」

### コロナ禍を乗り越え 次世代につなぐ記念誌を 記念誌作成委員会委員長 伊地敦子

本会もコロナ禍に翻弄され総会や事業の数々もすべて中止を余儀なくされた。しかし、その中で組織を動かすことに腐心された会員の前向きな努力（ZOOMの定例化等）が記念誌にたくさん語られ、勇気づけてくれる。

先輩支部長からは「80歳の壁」（和田秀樹著）を引用され、「年を取れば取るほど、個人差が大きくなる」「もつと自らの意見を主張してもいい」「心を動かすもの、こと、サービスを充実させる（With）受け入れながら生きよう」と、大きなヒントを与えられた。

本会に若い力を迎えて、まずまず充実していくよう、成熟した組織であるからこそ新しい考え方も受け入れ、会員の繋がりを大事に、次代に力強く出発する70周年記念誌にしたいと願っている。

式典当日の事業も記録し、発行は9月になる予定で10月には皆様のお手元に届くよう作業を進めている。

### ご協力に感謝します

記念特別事業委員会  
委員長 草野一紀

皆様方に御礼を申し上げます。前回の会報でも申し上げたように、私どもの委員会で将来の発展につながる70周年記念事業の実施を目指し、会の内外から協賛金を募る取組を進めてまいりました。具体的には次の3通りの方法で協賛の依頼を行いました。

- ① 会員の皆様から協賛金を募る
- ② 関連企業（団体）から広告掲載または協賛金を募る
- ③ 校長会等、関係団体から協賛金を募る

いずれの場合も、1月の段階では振込が終了しておらず、集計はこれからになります。②の企業については、約50社に依頼を行い、協力の申し出があった企業を訪問した結果、広告掲載が16社、協賛金の拠出が9社と、半分の企業が協力していただけ

ることが確定しています。①の会員の皆様からの協賛金については、理解していただけるかどうか、不安な面もありましたが、担当者からは、順調に振込が行われているとの報告を受けています。これも支部長の先生方が協賛金の趣旨について支部会員の方々がご理解いただけるよう、丁寧の説明していただいた結果だと考えています。まさに、「心を一つに、繋ごう未来へ」のスローガンのとおり、東京都退職校長会の充実・発展に向け、会員の絆が一層強まったことを確信しています。

企業の方々にもお伝えしましたが、協賛金については、70周年事業の運営に活用するだけでなく、今後、東京都の教育の充実に貢献できるような事業の展開も含めて、会の活動の充実に遣わせていただくことになりました。ご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 会章制作に携われた喜び

練馬支部 田中敬二

たしか平成二十四年の秋頃に恩師の川野先生から「退職校長会の片岡会長から、来年の六十周年を記念して会章を作りたいので頼める人を探している」との事で「君を紹介しておいた」との連絡がありました。しかし「私は彫刻専門でデザインは無理」と答えたら、「君は長年美術の教師としてデザインも教えていたでしょう、自信を持ちなさい」と言われ承諾しました。後日、片岡会長と会い、退職校長会の様々な資料を出され、活動内容を熱く語られたので私は深く感動し、「是非やらせて下さい」とお願いしました。

二週間ほど考え、完成したので、片岡会長にお見せしたところ大変喜んでいただきました。そして「彫刻が専門と聞きましたか」と言われ、結局会章の木製のレリーフも作りました。

# 令和五年度 定期総会について

総務部担当副会長 桐谷澄男

令和五年度の定期総会は、六月二十七日（火）午後一二時三〇分から行われます。

○会場 主婦会館プラザエフ

（JR四ツ谷駅麹町口前）

受付 一一・三〇～

定期総会 一二・三〇～

会員研修会 一四・四〇～

懇親会 一六・〇〇～

終了 一八・〇〇～

コロナ禍で中止が続いた懇親会は、今回の政府の新たな見解を受けて、本会も実施することに決定しました。

皆さんからも、懇親会を早くやろうというお声は結構前から伺いしてきたところです。

ところで、本年は役員の交代時期であるので、新しい役員を決める重要な審議となります。

なお、総会にあたりまして、功労・栄誉・長寿会員の皆様にご案内状をお送りするところではありますが、今回は会場やコ

ロナ等の件に鑑み、個々の方々へのご案内状は失礼させていただきますと思います。

○功労会員 〓本会より感謝状と記念品をお贈りいたします。

○上寿会員（百歳）会員 〓全連退より寿詞と筒

○白寿会員（九九歳） 〓本会より賀詞とお祝い品

○米寿会員 〓全連退より寿詞と筒

本会より賀詞とお祝い品

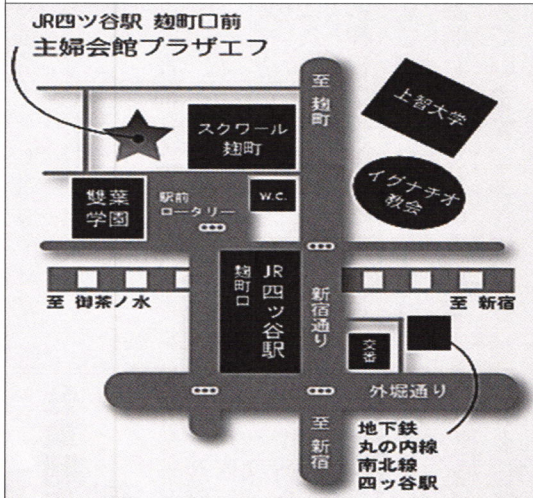
○喜寿会員 〓お祝い品

当日は、各会員代表お一人に感謝状、寿詞・賀詞をお渡ししたいと考えております。

代表者以外の方には、支部にお届けいたします。ご理解いただきたくお願い申し上げます。

なお、当日の総会、会員研修会については、体調を整えられてのご参加をお待ちしております。

## 総会・会員研修会・懇親会 会場図



- JR（中央線）  
四ツ谷駅麹町口より徒歩1分
- 地下鉄（丸の内線・南北線）  
四ツ谷駅から徒歩2分
- 専用駐車場の収容台数には限りがあります

## 令和五年度『第1回会員研修会』のご案内

東京都退職校長会 生涯学習部

令和五年度 第1回『会員研修会』を下記の要項で実施いたします。

- 期 日 令和5年6月27日（火）
- 時 間 2時40分～3時40分（総会終了後）
- 会 場 主婦会館（プラザエフ）  
〒102-0085 東京都千代田区六番町15番地  
電話 03-3265-8111（代表） 地下2階 クラルテ

### 「生き生き人生を目指して」 —音楽を楽しもう—

- 講師 木野村 雅子先生  
調布支部 大学講師  
くにたち混声合唱団 ときわ 指揮者
- 趣旨 3年間も続くコロナ禍のため、身も心も消極的になっています。そこでコロナ禍の収束を願い、元気を取り戻すために木野村先生にご指導を仰ぎ「音楽を楽しむ会」を計画しました。
- 内容 ○いろいろな曲を紹介していただく  
○楽器演奏を聴く  
○歌唱指導  
○全員で歌う

# 異支部間交流

三支部間交流を通して活性化

千代田・中央支部長 鈴木 正孝

千代田・中央支部は元々会員の少ない支部です。しかし、活動は活発だと思えます。例会は年五回で、支部長の本部報告のほかに近況報告や会員によるミニ講演を行っております。時間は三十分程度ですが会員の隠れた一面を垣間見ることができま

す。ウォーキングは年三回それぞれ異なった担当者が行っています。その中に新宿支部、文京支部の皆さんもお誘いしています。交流を通して支部間の理解が深まったように感じます。これからも続けていきたいと思えます。

## 三支部の交流

新宿支部長 佐藤 正吉

隣接する支部と連絡を取り、それぞれの研修事業の交流を始めて十年になります。支部の記録からその経緯を振り返ると、当時の支部長同士で「相手側の

都合がつく限り広域的に研修を深める機会を設け、支部間の活性化と会員同士の親睦・研修に寄与したい」という思いからのスタートです。各区の歴史博物館等の見学や名所旧跡巡り等、各支部の計画を連絡し合い、都合がつけば参加するという無理をしない呼び掛けのスタイルが継続している要因と思えます。

## 三支部間での交流研修会

文京支部長 小林 博

文京支部では三支部の交流研修を協働研修と称しています。それは相互に力を出し合い、有効に働く力を生み出す効果的な研修という意味からです。

期待される効果として、博物館や歴史館、庭園や旧邸宅などを見学し、知識を広め、理解を深め、思考を高めます。川沿いの散策や名所・旧跡をめぐるウォーキングでは、心身の健康の増進を図ります。終了時には食事を開き、親睦を深めます。各支部の工夫を知ることや地域のよさを実感したことから協働研修の成果が現れています。

# 支部だより

会員増強への取組み

荒川支部長 桜庭 清徳

荒川支部では、十数年前から入会状況が低下して来ました。このため役員会で議題の一つとして協議を行い、次の取組みを行うことにしました。毎年本部から一月にその年の定年退職予定校長名簿が支部に配られます。その名簿を各年度毎に累積した一覧表を作成して、勧誘結果を三月末日の段階で、一覧表の個人欄に記号で記入することになりました。

例えば、①入会する、②検討中、③再任用終了後入会する、④入会しない、等です。このデータが現在十数年間分累積されています。従いまして、この一覧表を確認すると誰がどうなっているのか把握することが出来ま

す。また三月と夏休みの時期に勧誘活動を行っています。この活動の成果として徐々に入会者が出ています。未来の荒川支部を夢見て！

小さくとも楽しく有意義に  
武蔵野・三鷹支部長 本郷 浩之

平成3年、北多摩東部支部より改名。当時の会員数153名。現在は35名と激減。年齢構成80歳以上72%と老齢化一途。

支部の主要行事は、作品展、会報の発行、研修会です。作品展の特徴は、会歌の作曲者、宮下洋先生の声楽発表会のCDやDVDを会場で視聴でき、参観者には好評。会報は担当者の創意工夫で、体裁、内容豊かな冊子ですが、部数の限定が残念。高齢会員には聞き取りで原稿に生かす。年2回の研修会は、地元武蔵野市・三鷹市の歴史探訪、立川市にある極地研究所、防災館での貴重な体験等、コロナ禍の影響を避けつつ実施。更に、会員の趣味を生かした活動と蕎麦打ちクラブを立ち上げ実施中。二市に跨る支部だが、会員一人ひとりを大切に、意義ある支部として回生を目指している。

### 新入会員の声

「よろしく願います」

西多摩支部 仲光 秀城

令和四年三月に、再任用校長を退職し、かねてより誘っていただいていた西多摩支部に入会させていただきました。どうぞよろしく願います。

私は昭和五十七年から立川市杉並区、奥多摩町、青梅市、羽村市、三鷹市の小学校で教員生活を送りました。合わせて四十年間、多くの方々の教えや支えの中で、職責を全うすることができました。深く感謝申し上げます。

退職後の現在は、大学において、教員を目指す学生の指導・支援にあたっています。小学校と大学では、違いも多く、新たなことへの挑戦と思っています。教員志望の学生が減少傾向にあります。今までの経験や教職のやりがいを学生に伝え、一人でも多くの教員を育てていきたいと考えています。

よろしく願います

町田支部 中村 雄一

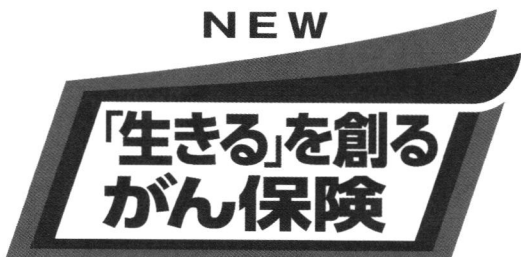
私の教職歴は、六地区、十一校で、町田市立成瀬台小学校を令和四年三月で退職しました。

私は川崎市在住ですが、先輩で町田支部長の新保富二夫先生から本会へのお誘いを受け、また在職期間の長い町田支部に入会させていただいたことを幸せに思います。

現在は、町田市教育センターの適応指導教室で不登校児童の指導をしています。理科教育や宇宙教育に携わってきた経験を活かし、惑星モビールやミニプラネタリウム作り、風力発電の風車の工夫など児童の興味・関心に沿った教材を作っています。せっかく適応指導教室に来られるようになった児童も、次々増える新しい児童によって、学校の教室と同じ圧力を感じるのか、ここにも来られなくなる児童が増えてしまうのが悩みです。

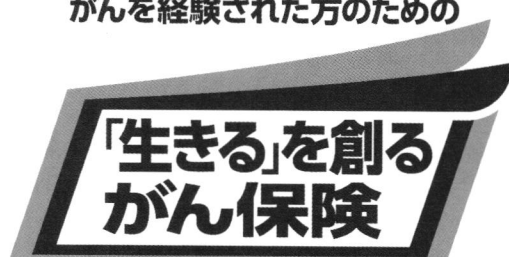
東京都退職校長会の会員様 お気軽にいつでもご連絡ください

NEW



WINGS

がんを経験された方のための



WINGS

〈お気軽に下記代理店へお問い合わせください〉

〈取扱代理店〉

三井住友トラスト・ライフパートナーズ株式会社  
東京都千代田区神田錦町3-11-1

〈引受保険会社〉

アフラック 東京第一法人営業部  
東京都千代田区丸の内1-6-1丸の内センタービル 19F  
TEL 03-3344-1446

0120-357-212 (平日9~20時、土日祝9~17時)

### 高齢者叙勲受章会員

栄えの受章お祝い申し上げます。(敬称略)

(令和5年1月27日現在 本部に届けがあった方々)

瑞宝小綬章 (1名)  
 本間 正康 (千葉中)  
 瑞宝双光章 (5名)  
 梅田 庸夫 (世田谷)

塩谷 久夫 (杉 並)  
 草刈 喜一 (日 南)  
 加藤 宏 (千葉西)  
 吉田 行雄 (地方・茨城)

瑞宝单光章 (1名)  
 和田 英子 (千葉北)

(福利厚生部長 増田 稔)

### 地方会員の声

生き甲斐を求めて

茨城県 山野 圭三

私は、平成十年五月に茨城県那珂市に住む長男夫妻(教員)の幼児の世話のために那珂市に転居しました。

平成十一年五月、那珂市社会教育委員会の議長に選任されました。那珂市は茨城県都に隣接します。市は人口五三九一二名、家屋二三四八戸、基幹産業は農業、交通J R水戸線、総面積九七八二平方キロメートルで土地は平坦で寒暖差が少なく生活し易い地域です。

令和三、四年度の市社会教育委員会の活動を紹介します。

(一)市青少年の読書離れを防ぐため市広報を利用し話題の図書貸出し事業の活性化。(二)家庭教育の充実。次年度小学校入学予定の保護者対象に基本的な生活習慣の見直しについて、社会教育委員による講話実施。市内小学校十校、中学校五校。県立高校二校。短期大学一校。以上



## ご希望のご予算に合わせて お葬式が執り行えます

### 東京都退職校長会会員の皆様へ

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

365日24時間 いつでも 迅速対応



0120-849-544

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります

Well Life ウェルライフグループ  
 東京都民互助会 平安祭典

ホームページ



本社:東京都杉並区上荻3-15-17 営業本部:東京都練馬区北町5-18-15 3階 TEL03-3396-7231

(令和5年1月22日 届出現在)

物故者



謹んでご逝去を悼み

ご冥福をお祈り申し上げます

岡野 博	菅谷 廉之助	大久保 正利	滝澤 利夫	山下 朝春	宮下 昭原	杉山 正昭	平野 良太	安藏 復也	浦部 俊久	山田 平右工門	今関 正義	林 昭雄	氏名	年月日	支部名	校種	年齢	簿頁	須山 道德	浮谷 司朗
4.11.4	4.11.2	4.10.13	4.10.2	4.9.24	4.9.16	4.9.6	4.8.23	4.8.23	4.8.12	4.6.7	4.4.21	3.11.21						4.11.8	4.11.6	
葛飾小9739	千葉中部小8687	黒高929	埼玉県高8796	杉並小9622	新宿小951	神奈川県都養92103	板橋中9427	神奈川県高91101	江東小907	地方中98110	千葉南部中8783	葛飾小9539						神奈川県中105106	世田谷小9314	
君塚 齊	伊佐 隆一	平野 一男	窪 貞亮	島田 勝弘	白石 裕一	山中 優	菊地 桂	小松崎 晟良	余公 主子	小野沢 静雄	古谷 一三	阿久津 福榮	神成 真一					4.11.14	4.11.14	
4.12.23	4.12.19	4.12.18	4.12.18	4.12.4	4.11.26	4.11.24	4.11.24	4.11.20	4.11.19	4.11.17	4.11.14	4.11.12	4.11.10					地方小93109	板橋小9728	
千葉南部中8983	葛飾小9337	練馬小9834	日南小8956	町田中9149	武蔵野三鷹小8657	杉並小9421	三宅島中8683	葛飾小9339	北多摩部小9359	板橋小9728	地方小93109	日南小9355	北多摩部中6473							

(福利厚生部長 増田 稔)

応募コーナー

俳句

寄稿 II 江東支部俳句の会

「四葉句楽部」(昨年八月発足)

露天風呂月の光の乱れなし  
包丁に滴る梨の爽やかさ

蔀 次雄

熟れ柿を採る人もなし校舎跡  
この寒さまだ序の口と襟を立て

鈴木正孝

六畳間子規庵駆ける秋の風  
トンネルは紅白の萩百花園

佐藤正広

南国の空港に列野分かな  
手を合わす嬉し恥ずかし七五三

野村文章

店先の西瓜持ち上げ笑顔の子  
冬ぼたん五重塔を借景に

加村隆治

水底に波のかげゆれ猫柳  
蝸牛われの一日も似てきたり

岡島光雄

山あいの水車紅葉の彩廻す

宮城県仙台市

短歌



朝の陽に髪光らせて子どもらが  
地面に映る影絵で遊ぶ

寒き校庭に吐く息白く陽を浴びて  
ボール追いかける子の影長く

中野支部 田中弘志

編集後記

新型コロナウイルス感染者の数が少なくなってきました。あと少しです。

令和5年度、最初の会報を、お届けします。

218号は「退職校長会創立70周年記念式典」の特集号です。

式典に向けて、多田会長以下担当の会員が鋭意、取り組んでいる様子を、お汲み取りください。

それから本号では、支部間交流を取り上げました。

まだ数は少ないようですが、いくつかの支部が交流を続けています。今のところ、見学会が主ですが、支部間交流を通して、更に親睦が深まり、本会への関心が高まることを確信しています。

5月16日の式典当日は、コロナの感染予防が効果を上げ、ご来賓をはじめ、参加者全員が、安心してご来場されることを、祈念しております。

最後に悲しいお知らせです。この後記を書き進めているさなか本会報編集の労を共にした先輩白石裕一先生の訃報に接しました。感謝と敬意を表しご冥福をお祈りしたいと思います。

(佐藤 忠三)